

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-------------|
| 施設所在地 | 江東区三好3-2-11 |
| 施設名 | アンジェリカ白河保育園 |

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

音楽演劇表現

〈テーマの設定理由〉

当園では「非認知能力の成長」を重視する保育方針のもと、自己選択活動の環境を設定し、保育の充実を図っています。その活動をさらに推進するため、非認知能力の成長に直結する「音楽演劇表現活動」を実施したいと考えました。

2 活動スケジュール

5/29
6/26
7/17
8/7
8/21
9/18
10/23
11/20
12/18
1/22
2/19
3/19

全12回

4歳児年中クラス 9:30～10:15
5歳児年長クラス 10:25～11:10

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

自由に身体を動かせるように、4歳保育室と5歳保育室をつなげて広い環境とした。その都度、楽器の演奏者がきてくれる日もあり、ピアノや楽器の場所も講師と検討しながら設置した。子ども達は園の打楽器や手作り楽器も使用した。また、パラバルーンやブルーシートも表現活動に使用した。

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

「音楽を使いながら、他者を認め（他者理解）演劇というツールで自分を理解する（自己理解）」ことをテーマに、「表現活動を通して子どもたちが協働する場」を設定した。非認知能力の成長のために重要な要素の一つは、人的環境の多様性です。子ども向けの表現活動を日ごろから実施しているプロアーティストにかかわっていただき、最大限の想像力と集中力を養いながら、発想力、想像力、協調性、コミュニケーション能力…全てを遊ぶように学んでいく。みんなで歌い、それぞれの役割を見つけ、「みんなで協力して発表する」までをワンストップで行うプログラムを実施した。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

初回から子ども達は目を輝かせながら参加していた。最初は少し恥ずかしさも感じているようであったが、徐々に積極的になり自由に表現することをとても楽しんでいる様子であった。自分一人で表現したり、友だちと協力して一つのものを表現したりしていた。回数が進むにつれて、子ども達からこれをやりたいというアイデアも沢山でてくるようになっていった。子ども達の主体性と自由な表現がテーマを設定した理由であるため、担任が声掛けをすることはほとんどなく一緒に活動を楽しむように参加していた。自由に身体を動かして表現し気持ちが高揚する場面と、ゆっくり身体を動かしたり読み聞かせで絵本の世界に没入していったりと静と動の動きがあり、子ども達の集中力も続いているように感じられた。楽器の演奏者と共に来園された際は、初めてみる楽器もあり、音を聞いたり触らせてもらう貴重な体験もあり、子ども達からもとても楽しかった、またやりたいという声がたくさん聞かれた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

1年間のすくわくプログラムを通して、一人一人の表現力が豊かになり「自分を表現する力」が育ったように感じている。開始当初は表現することに恥ずかしさを感じているような姿もあったが、表現する楽しさに気づき、興味が湧き、回を重ねて経験をすることで、堂々と自由に表現するようになっていった。珍しい楽器に触れることも貴重な体験となり、子ども達の興味関心が更に深まったと感じた。普段の保育の中でも、人前で堂々と意見を言ったりすることも出来るようになったと感じている。12月の園の発表会でも自信を持って発表する姿があり、すくわくプログラムの良い影響が出ているのではないかと感じた。